



ヒヤリとしたらすぐ改善  
みんなで摘もう  
危険の芽

**沖繩**  
【沖繩支部 柴田哲也通信員】沖繩県立沖繩水産高校で、海洋技術科進路講話が6月3日、開催され、本組合から高橋健二水産局長と平岡英彦国内局長が講師として参加した。また、沖繩県まぐろ漁業協会の饒平名利香事務局長と那覇タグサーピスの津波古大地2等航海士(沖繩水産高校卒業生)の2人も講師として参加した。

### 船員職業に進む生徒にアドバイス

#### 沖水高で現役船員ら進路講話

沖繩水産高校は、海運関係団体や現役船員に講話を依頼し、生徒の進路決定の参考になるよう、海洋技術科の生徒を対象とした進路講話を毎年開催している。船員という特殊な職種に対して、一般的な進路指導説明会では生徒が必要とする情報を得ることが難しかったためだ。

また、学生への講話が終了した後、海洋技術科生徒の保護者を対象とした就職説明会も開催された。参加した生徒数は、海洋技術科本科約120人、専攻科18人、保護者が25人となった。進路講話で高橋水産局長は、さまざまな種類の漁船を紹介。

日々の操業お疲れさまです。7月に入って徐々に温度が上がってきておりますが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

### 商業捕鯨の鯨肉、豊洲初入荷

#### 母船式船団でも初漁

今月1日に再開された商業捕鯨で捕獲されたミンククジラの鯨肉が、8日朝、豊洲市場に初入荷されました。赤身肉に1キログラムあたり4000円前後の卸値が付くなど、高値で取り引きされました。

一方、排他的経済水域内で操業している母船式捕鯨船団で、商業捕鯨再開後初となるクジラが4日、捕獲されました。捕獲されたのは体長12・67メートル、体重13・73トンのオスのニタリクジラ。第3勇

環境保護団体  
マグロ漁業ターゲットに  
グリーンピースをはじめとする環境保護系NGOが共同で、マグロ類に関する各地域管理機関(RFMOs)に対して、マグロ漁業を100%監視することを求める声明を先月25日、発表しました。

### サンマ水揚げ4割減

5月より開始された北太平洋

参加した生徒からは▽漁船の漁具は会社で用意してもらえるのか▽漁具が故障した場合個人負担になるのか▽まぐろ漁船で漁獲するまぐろの大きさはどのぐらいなのか▽ケミカル船は他の船種と比べ安全な労働環境なのか▽タグボートの給料はいくらぐらいなのか▽海技資格は何級を取得すべきか教えてほしい▽タグボートの初任給はいくらぐらいなのか―などの質問が出され、講師が分かりやすく回答した。

### 保護者へ進路説明会

学生への講話が終了した放課後には、保護者への進路説明会で、当組合の活動はもとより船員への進路選択について、船員に関する全般的な意見交換を行った。参加した保護者からは▽船

### 時のこぼれ

#### 改正健康増進法

受動喫煙対策を強化するのが目的で、今月1日に一部施行され、東京五輪・パラリンピック前の来年4月1日には全面的に施行されます。飲食店や職場、鉄道、ホテルのロビーなどが原則、屋内禁煙となります。ただし飲食店の場合、客席面積が100平方メートル以下などの条件に当てはまる小規模店は当面、屋内喫煙が認められるといえます。(連合通信から)

洋での公海サンマ漁業は、6月末までの時点で前年の試験操業より4割も漁獲が減少し、漁獲不振となっております。また、日本沿岸域の資源調査でも魚群の形成が少ないことを確認。8日に解禁された沿岸で操業する小型サンマ流し網漁でも過去最低の初水揚げ量になるなど、非常に先行きが不安な状況となっております。サンマの漁獲不振は、気候変動などによる漁場形成の変化や外国漁船による北太平洋公海での大量漁獲に要因があるのではないかと考えられております。

皆さまの大漁とご安航を祈念しております。(水産部)